

シラバスを利用して生徒の自学自習を支援する工夫

Some syllabus ideas to aid students in becoming independent learners

飯塚 一也
埼玉県立羽生高等学校

Abstract

Students sometimes get worried about the method of studying for new subjects when a new school year starts. To reduce this, teachers make a syllabus and show the contents and pace to the class. Furthermore the students' goal in the subject area can be made clear. Teachers also want students to study actively. Using the syllabus and additional materials will lead to this purpose. This report describes the making and improving of the syllabus at a public high school from 2001 to 2004. The teaching staff discussed how to improve the syllabus and how to let the students make effective use of it. Still now further discussion is needed to encourage students to be independent learners.

キーワード： シラバス, 授業ガイダンス, 同一科目担当者同士の連携, 学校全体での取り組み, 生徒の自学自習の支援

| | |
|-----------|--|
| 科目名 | 英語Ⅰ LL演習 英語Ⅱ |
| 対象者とクラス人数 | 高校1年生 高校3年生 各40名 |
| 学習の目標 | 英語Ⅰ まとまりのある文を読み、段落ごとの要旨をつかみ筆者の主張を的確にとらえるとともに、背景や関連知識を学ぶ。 LL演習 英語の発音、リズム、イントネーションなどの理解とその練習。 英語Ⅱ まとまりのある文を読んで、その要点をまとめられるようにする。 |

1. はじめに

本実践報告は、2001年度から2004年度までの間、埼玉県公立高等学校において行われた、シラバスの作成とその利用を記録したものである。新年度、新入生や新学年に進級した生徒は「期待と不安」の入り混じった状態で最初の授業に臨む。その「不安」の部分をもっと小さくし、生徒が先々の授業準備をやりやすくするための一手段として、シラバスを作成して生徒に授業についての説明を行う方法がとられた。最初は英語科内の先輩教諭がやり始めた実践が教科内に広がり、たまたま教務部を中心に校内でのシラバス作りの動きが始まったことと重なり、苦戦しながら改良に向けて取り組んだ流れをとりあげる。

2. 年間授業・考査予定表

この実践の場となった高校は、学校規模が大きく、また普通科と外国語科を併設しているため英語科の教員数も多く、同一学年の科目を数名の担当で分担していた。普通科は定期考査の問題は統一で、考査問題の検討会議や、年度末には教科内全員での授業報告会も行っていた。ある先輩教諭が自分の担当学年で生徒に配付していた「年間授業・考査予定」の表が注目され、翌年度から他の教員も学年内統一の年間授業・考査予定表を作成し生徒に配付するようになった。前年度の担当者から実施してみても効果や反省点を教えてもらい、生徒がいつ頃の Lesson を学習するかを年度の初めに提示し、どれくらいの期間でどれくらいの内容を学習するかを知ってもらう資料となった。この頃は校内ではまだシラバスということばはあまり使われず、配付される予定表は、生徒にとって気になる考査までを一つの区切りとする形で作られており、Lesson ごとの主な学習内容や到達目標についての記載もあまりないものであった（表1）。

それでもとりわけ新入生にとっては、高校での学習内容や授業進度を漠然とでもイメージしたり、また予習をする上での一助にはなっていたようである。教員側も、次回の考査までの授業時間を考えて、より緻密な授業計画を練り授業に臨んだ。

普通科での授業・考査予定表とは別に、外国語科の専門科目は1科目につき1人か2人で担当するものが多かったが、この科目の中でも、担当者が授業予定表を作成して、生徒に配付し、また一緒に **team teaching** をする後輩教諭（少なくともその科目の担当歴では後輩）に教えながら引継ぎをしていく動きがあった。このため、外国語科の専門科目を初めて担当する教員にとっても心強い資料となり、一つのモデルを学びながら自分なりの創意工夫を付け加えていくことができた。表2は外国語科専門科目の LL 演習の授業シラバスである。第1回目の授業でプリントで配付された。

表1 普通科 1年 英語 I 年間授業・考査予定表

| <u>2001年度 英語科 年間授業・考査予定</u> | | | |
|--|---|---------------------------------------|------------------------------|
| 1. 英語 I | | | |
| 春休み副読本 (GOODBYEMRHOLLYWOOD) + 文法書 + 教科書 INTRODUCTORY LESSON (B) HOW FAR CAN ENGLISH GO? LESSON 1 HALF A CUP OF TEA LESSON 2 TALES FROM <i>TSUREZUREGUSA</i> | 課題テスト (4/12) 1学期中間考査 (5/19~5/23) 標準テスト (6/12) | 1 学 期 評 価 | 学 年 評 価 |
| 文法問題の部分についてのみ、後日範囲を指定します LESSON 3 SO MANY PEOPLES, SO MANY CULTURES LESSON 4 FROM MY DIARY 1学期副読本 (書名未定) | 1学期期末考査 (7/6~7/11) | 2 | |
| 夏休み副読本 (書名未定) + 文法書 LESSON 5 A DOCUMENT FOR ALL PEOPLE LESSON 6 CAN YOU BELIEVE YOUR EYES? LESSON 7 THE DISCOVERY OF PENICILLIN 文法問題の部分についてのみ、後日範囲を指定します | 課題テスト (9/2) 2学期中間考査 (10/18~10/21) 標準テスト (10/4) | 学 期 評 価 | |
| LESSON 8 COMPUTERS CATCH COLD LESSON 9 ALICE IN WONDERLAND LESSON 10 THE LESSON OF HISTORY 2学期副読本 (書名未定) | 2学期期末考査 (12/11~12/14) | 3 | |
| 冬休み副読本 (書名未定) + 文法書 文法問題の部分についてのみ、後日範囲を指定します | 課題テスト (1/10) 標準テスト (2/6) | 学 期 評 価 | |
| LESSON 11 THE INFINITE VARIETY LESSON 1 A MYSTERIOUS SENSE OF DIRECTION (英語 II) LESSON 2 ANN AND GILBERT (英語 II) 3学期副読本 (書名未定) | 学年末考査 (3/9~3/14) | | |

①春休み同様、夏休みと冬休みにも副読本 (サイド・リーダー) の宿題があり、文法の宿題も加えて、休み明けに課題テストを実施します。

②各学期中にも1冊ずつサイド・リーダーが課されます。家庭で時間を見つけて読み進めてください (授業では読みません)。期末考査に20点程度の配点で出題します。長期休みのサイド・リーダーを含めて1年間で6冊読む予定です。教科書のCROWNで精読の力を、サイド・リーダーで速読の力を養います。

③各学期の評価 (通知票の成績) は、定期考査 (中間と期末) だけでなく、上記の表のとおり、課題テストと標準テストも加えて出します。

④CROWNのRAPIDREADING (I & II)、Poetry for You (1&2)、RIDDLESはとばします。授業では読みません。

⑤3学期には英語 II の教科書に入る予定です。

表2 2001年度 外国語科 1年 LL 演習 授業シラバス

1年 外国語科 LL演習 授業シラバス

| | |
|--|--|
| 科目名・単位数 | 1年10組 LL演習 2単位(90分授業) |
| 使用テキスト 参考書等 | English Pronunciation for Better Communication (英潮社) 他、プリント教材 |
| 授 業 内 容 | |
| <p>1. はじめに —— 口に出せる音は「聞ける」</p> <p>君たちは、外国語科に入学したからには、自由に英語が話せるようになりたいという願いを抱いていることでしょう。しかし、それは一朝一夕にかなえられるものではありません。日ごろの練習の積み重ねによって、徐々に実現していくものなのです。</p> <p>英語の学習というとすぐに思い浮かぶのがリスニングです。確かにリスニング練習を通して、音声英語に触れ、様々な情報をインプットすることは大切なことです。しかし、インプットしたからといって、それだけで会話力がつくようにはなりません。何故でしょうか？</p> <p>後から考えるとわかるのに、いざというときに思ったように出てこない、ということがありませんか？大量に英語がインプットされていても、頭で理解したこと、耳を通してイメージしたこと、口に出すこととの間にはギャップがあるのです。このギャップを埋めること、つまり、アウトプット(実際に口に出す)トレーニングが必要なのです。</p> <p>このLLの授業の目的はそこにあるのです。口に出した音は忘れにくいのです。さらに、口に出した音は「聞くことができる」のです。</p> <p>2. 授業中の活動</p> <p>この授業は、すべてLL教室でカセットテープを使って行われます。主な活動は以下のとおりです。</p> <p>① 英語の個々の発音(子音・母音)、リズム、イントネーションなどの理解とその練習</p> <p>② リピーティング—— シャドウイングともいいます。学習した「音」を中心に、会話文などを忠実にまねて発音する練習</p> | |
| リピーティング(シャドウイング)とは？ | |
| <p>リピーティング(シャドウイング)の目標は、英文を機械的に繰り返すのではなく、忠実に再生することにあります。そのためには、テープから流れてくる音声情報を細かいところまで漏らさずに聞き取り、話している人の話し方(発音、リズム、イントネーション、間の取り方、感情、など)をそっくりまねて、自分が実際に話しているつもりになって、リポートしなければなりません。</p> <p>このトレーニングは、通訳をめざす人たちの基礎トレーニングでもあります。このトレーニングをしっかり積むことによって、スピーキングの力が確実に身につけてくるだけでなく、英語の語感を身につけたり、まとまった表現(セットフレーズ)を無意識のうちに覚えてしまう、など非常に効果があります。最初は、単調に感じますが、練習を積むうちに英語を口に出すのが楽しくなってくると思います。</p> <p>教材は、会話だけでなく、物語、ニュース、スピーチなど多彩にわたります。</p> | |
| <p>以上のようなトレーニングを積むことによって、1年後の君たちの発音は、格段に上手になっていることでしょう。</p> <p>3 1回の授業は90分で行われます。授業は、2つの班に分かれ、第1LL、第2LLを使用します。班分けは、最初の授業で連絡します。</p> | |

表2 2001年度 外国語科 1年 LL 演習 授業シラバス(2)

| 授業進度予定 | | | | |
|---|--------|----------------------|---|------|
| 月 | 予定授業回数 | 授業回 | 内 容 | 備 考 |
| 4月 | 2 | 1 2 | [p][b] [t][d] | |
| 5月 | 3 | 3 4 5 | [k][g] [f][v] [b]と[v]の比較 テスト課題文の解説と練習 | 中間考査 |
| 6月 | 3 | 6 7 8 | [s][z] [θ][ð] [s]と[θ]、[z]と[ð]の比較 | |
| 7月 | 2 | 9 10 | [t]と[θ]、[d]と[ð]の比較 [ʃ][ʒ] [s]と[ʃ]の比較 | |
| 9月 | 3 | 11 12 13 | [tʃ][t]と[ʃ]と[tʃ]の比較 [dʒ][ʒ]と[dʒ]の比較 テスト課題文の解説と練習 | 期末考査 |
| 10月 | 4 | 14 15 16 17 | [h][hw] [h]と[f]の比較 [r][ɹ] [m][n][ŋ] [m][n][ŋ]の比較 [w][j] | |
| 11月 | 4 | 18 19 20 21 | 母音1(開く音) [ɑ][æ] 母音2(開く音) [ɔ][ɑr][or] 母音3(狭い音)[i][ʌ][e] 母音4(狭い音) [ir][er] | |
| 12月 | 2 | 22 23 | 母音の比較 テスト課題文の解説と練習 | 中間考査 |
| 1月 | 4 | 24 25 26 27 | 2重母音[eɪ][aɪ][ɔɪ] 2重母音[au][əu] 2重母音[iə][eə] Flaps | |
| 2月 | 3 | 28 29 30 | 輪読1(説明、担当、発音確認等) 輪読2(発音確認、練習) 輪読3(発音確認、テープ録音) | 期末考査 |
| 3月 | 1 | 31 | 輪読のテープ編集など | |
| 成績評価 | | | | |
| <p>1 評価は以下のように行います。</p> <p>(1) 原則として、各定期考査の得点で評価します。</p> <p>(2) 上記の評価に、以下の要素を加えて、評価の加減を行います。</p> <p>① 授業の出席状況。② 授業に対する積極性 ③ 課題(提出期限の厳守)</p> <p>2 定期考査は、おおむね、リスニングテストとリピーティングテストで実施されます。場合によっては、若干の筆記試験も行うことがあります。</p> | | | | |
| その他 | | | | |
| <p>1 この授業に関して、予習は必要ありませんが、復習はしっかり行ってください。</p> <p>2 発音練習の単語については、授業中に意味の解説をしませんので、各自、辞書で調べてください。</p> <p>3 進度については、若干変更されることがありますが、その場合は、事前に連絡をします。</p> | | | | |

3. 学校全体での取り組み

2002年度初めに向けて、学校として全教科・科目についてのシラバスを作成し冊子としてまとめることが決定した。英語科の中でも、普通科・外国語科の全科目についてのシラバス作成を分担し、作成が始まった。分担の基準として、2001年度に担当した科目のシラバスを作るケースが多かった。少なくとも1年間担当して、実際の授業進度と生徒の理解状況を肌で感じているほうが、形だけでない実際に使えるシラバス作成に近づけるという想定からであった。

英語科にとっては、それまで作成していた授業・考査予定表の内容に加えて、教務部より指示された学習目標や学習方法、評価についてなどを記載して改良に努めた。

この年度に出されたシラバスは書式・体裁などは各教科に任されており、とにかく全教科について記載されている1冊にまとめられたものを目指していた。表3はその中の一部で普通科英語Ⅰのシラバスである。外国語科のLL演習については、前年度プリントで配付したシラバスの中に学習内容や評価について記載されていたので同じものを使用した。

2002年度版のシラバスを出した後、2003年度用に向けて教務部で改良すべき点が検討された。その結果、書式・体裁を統一し、生徒が活用しやすいように軽量化を試みて学年ごとの分冊化が提案された。また、記載項目についてもある程度の統一化を目指すこととなり、履修学年、単位数、使用教材、学習内容、評価に加え到達目標を記載する欄が設けられた。生徒にとって短期目標がはっきりするという理由で、到達目標は單元ごとにわずかながらでも記載する形式となった。外国語科のLL演習などそれまで多くの項目について記載していた科目も、書式・体裁を統一するに当たりシラバスを再作成することとなった(表4)。

シラバス作成をしながら、使用教材の学習項目の順序についても検討された。3年英語Ⅱでは大学入試の過去問題で長文読解の練習を行うが、テキストでは類似したトピックの問題が続けて記載されており、生徒が退屈してしまうことが予想された。そこでテキストの記載順序は無視して、一つの長文読解が終了したら全く異なるトピックの問題に取り組むように学習項目順序を変えて、生徒が飽きずに取り組めるように配列した(表5)。3年生は文法学習を一通り終了しているため、テキストの配列が変わっても支障はなかった。

また、自分で予習を進めていく生徒にとっては、先々のトピックを学習するかが前もってわかっているのが安心して取り組めたようであった。しかし、効率よく予習を進められない生徒の自学自習支援のためにはシラバスだけでは不十分なため、更に別の支援策を講じた。

表3 冊子シラバス 1 年目 (2002 年度) の英語 I シラバス

| 平成14年度 英語科 授業シラバス | | |
|-------------------|--|---|
| 科目名・単位数 | 英語 I (4単位) | |
| 使用テキスト | The CROWN English Series I (New Edition) The CROWN English Series II (New Edition) | |
| 学習目標 | <p>ア. まとまりのある文を読み、段落ごとの要旨をつかみ筆者の言いたい事(主張)を的確にとらえるとともに、背景や関連知識を学ぶ。</p> <p>イ. 文法事項・イディオムを理解し、その表現を使いこなせるようにする。</p> <p>ウ. リスニングや発音練習を通して正確な発音・イントネーションを身につける。</p> | |
| 学習方法(姿勢) | <p>ア. 予習して授業に臨む。語句の意味調べ、本文の日本語訳(段落ごとの要旨をまとめる)、自分のわからない部分を把握。</p> <p>イ. 授業中は積極的に声を出す。(読み・発音練習、質問、発言)</p> <p>ウ. 予習内容を授業で確認し、わからなかった部分を理解する。</p> | |
| 授業計画(進度) | | |
| 月 | 単 元 名 | 主な学習内容(文法事項) |
| 4月 | <p>○新入生歓迎テスト(春課題テスト)</p> <p>Introductory Lesson B How Far Can English Go? Lesson 1 HALF A CUP OF TEA</p> | <p>中学で学んだ文法事項の復習</p> <p>過去完了形</p> |
| 5月 | <p>Lesson 2 TALES FROM TSUREZUREGUSA ◎中間 考 査 Lesson 3 SO MANY PEOPLES, SO MANY CULTURES</p> | <p>主語＋動詞＋現在分詞</p> <p>主語＋動詞(make / let)＋目的語 ＋原形不定詞</p> |
| 6月 | <p>Lesson 4 FROM MY DIARY</p> | <p>分詞構文 / seem to ~</p> |
| 7月 | <p>Lesson 5 A DOCUMENT FOR ALL PEOPLE ●標準 テ ス ト</p> | <p>関係代名詞 / 関係副詞</p> |
| 9月 | <p>○夏休み課題テスト Lesson 6 CAN YOU BELIEVE YOUR EYES? ◎期 末 考 査</p> | <p>主語＋知覚動詞＋目的語 ＋原形不定詞</p> |

表3 冊子シラバス1年目(2002年度)の英語Iシラバス(2)

| | | |
|-----|---|---|
| 10月 | Lesson 7 THE DISCOVERY OF PENICILLIN Lesson 8 COMPUTERS CATCH COLD ●標準テスト | 仮定法過去 / 関係副詞 / 主語+動詞+目的語+現在分詞 主語+動詞+目的語+疑問詞節 / 主語+動詞+if[wether]節 |
| 11月 | Lesson 9 ALICE IN WONDERLAND ◎中間考査 | 主語+動詞+目的語+that節 / 現在完了進行形 |
| 12月 | Lesson 10 THE LESSON OF HISTORY | It+be動詞+形容詞+that節 |
| 1月 | ○冬休み課題テスト Lesson 11 THE INFINITE VARIETY | 未来形の受け身 |
| 2月 | ●標準テスト (英語IIの教科書) Lesson 1 A MISTERIOUS SENSE OF DIRECTION Lesson 2 ANNE AND GILBERT | 分詞構文 仮定法過去完了 |
| 3月 | ◎学年末考査 | |

成績評価

- ・◎中間考査と期末(学年末)考査を主たる成績評価の材料とする。(80%)
その他、課題テスト、標準テスト、出席状況、授業に対する積極性など。(20%)

その他(注意事項等)

- ・週4回のうちの1回は、オーラルコミュニケーションBと合わせた90分授業の形態で行う。
- ・長期休業中と各学期ごとに「読み物」を科す。授業では扱わないので自分で読んでおくこと。
その内容についての試験を、長期休業明けの課題テストと学期中の標準テストの中で行う。
- ・●標準テストは、長文問題60点(うち30点分は前もって配布する学期中の読み物より)と、
文法・英作文・会話・発音問題が40点。(文法問題は学習した中から範囲を指定する。)
- ・○課題考査は、長期休業中の読み物から60点、課題とする文法事項から40点を出題する。

表4 書式・体裁が統一されたシラバス(2003年度～)LL演習(一部抜粋)

| 1年 外国語科 LL演習 | | | | |
|---|---|---|---|--|
| 1. 履修学年、単位数 外国語科 I学年 2単位(90分授業) | | | | |
| 2. 使用教材 (1)English Pronunciation for Better Communication (英潮社) (2)プリント教材 | | | | |
| 3. 学習内容等 | | | | |
| 期 | 月 | 単元 | おもな学習内容 | 到達目標 |
| 前期 | 4月 | [p] [b] [t] [d] | 両唇破裂音 歯茎破裂音 | 最も基本的な子音破裂音の習得 |
| | 5月 | [k] [g] [f] [v] [b]と[v]の比較 テスト課題文の解説と練習 | 軟口蓋破裂音 唇歯摩擦音 | やや基本的な子音破裂音と摩擦音の習得 |
| | 6月 | [s] [z] [θ] [ð] [s]と[θ]、[z]と[ð]の比較 | 歯茎摩擦音 摩擦歯音 | 摩擦音の発展形の習得 |
| | 7月 | [t]と[θ]、[d]と[ð]の比較 [ʃ] [ʒ] [s]と[ʒ]の比較 | 歯茎破裂音と摩擦歯音の比較 | 習得した破裂音の確認 似た摩擦音との比較 |
| | 9月 | [tʃ] [t]と[ʃ]と[tʃ]の比較 [ð] [ʒ]と[ð]の比較 テスト課題文の解説と練習 | 硬口蓋歯茎音の破裂音 | 破裂と摩擦の両方を伴った音の習得 |
| 後期 | 10月 | [h] [hw] [h]と[f]の比較 [r] [ɹ] [m] [n] [ŋ] [m] [n] [ŋ]の比較 | 声門音 側音 鼻音 | 日本語のハ行、ラ行、マ行等の音との違いを認識して発音する |
| | 11月 | [w] [j] [ɑ] [æ] [ɔ] [ɑr] [ɔr] [i] [ʌ] [ə] [ir] [ər] | 半母音 母音1 (開く音) 母音2 (開く音) 母音3 (狭い音) 母音4 (狭い音) | 母音は日本語では5種類しかないのに対し、英語では10種類以上ある。口の開き方や舌の位置に注意しながら英語の母音を発していく。 母音同士の微妙な違いを認識する。 |
| | 12月 | 母音の比較 テスト課題文の解説と練習 | | 2種類の母音を一続きに発音する |
| | 1月 | [ei] [ai] [ɔi] [au] [əu] [iə] [eə] | 二重母音 | 1年間で学んだ母音、子音の全てに注意しながら文章を音読する。 |
| | 2月 | Flaps | | |
| 3月 | 輪読(説明、担当、発音確認) 輪読(発音確認、練習) 輪読のテープ編集など | 学年末考査で生徒の輪読を録音し評価するため、その準備を進める。 期末考査で録音 | | |

表5 2003, 2004 年度 3年英語Ⅱシラバス

| 3年 英語Ⅱ | | | | | |
|--|----|-----------|---|--|--|
| 1. 履修学年、単位数 3年 普通科 文Ⅰ, 文Ⅱ 2単位 2. 使用教材 Make Progress in English Reading (数研出版) 3. 学習内容等 授業目標 : ①まとまりのある文を読んで、その要点をまとめられるようにする。 ②大学入試にむけて、長文読解の練習をする。 ③語彙や、文法事項などを総合的に復習する。 | | | | | |
| 期 | 月 | おもな学習内容 | おもな実習内容 | 到達目標 | |
| 前 期 | 4月 | 1. 言語① | <ul style="list-style-type: none"> 内容理解 指示語の確認 和訳 | <ul style="list-style-type: none"> 指示語の内容を的確に理解しながら読むことができたか。 長文の一部として文脈をおいながら和訳ができたか。 | |
| | 5月 | 3. 家庭、教育① | <ul style="list-style-type: none"> 内容理解 和訳 内容をまとめる | <ul style="list-style-type: none"> 内容をふまえて適切にまとめて表現できたか。 | |
| | | 6. 国際理解② | <ul style="list-style-type: none"> 内容理解 和訳 意見の根拠をまとめる | <ul style="list-style-type: none"> 意見の根拠や、例示を的確に関連付けて読み進めることができたか。 | |
| | | 10. 人生② | <ul style="list-style-type: none"> 内容理解 和訳 趣旨をまとめる | <ul style="list-style-type: none"> ポイントを整理しながら文を読み進めることができたか。 | |
| | 6月 | 12. 芸術 | <ul style="list-style-type: none"> 内容理解 比喩の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 比喩されている内容を正しく理解できたか。 | |
| | | 前期中間考査 | | | |
| | | 15. 科学② | <ul style="list-style-type: none"> 内容理解 意見の根拠をまとめる 指示語の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 意見の根拠をつかめたか。 指示語の具体的な内容を正しく理解できたか。 | |
| | 7月 | 2. 言語② | <ul style="list-style-type: none"> 内容理解 和訳 内容をまとめながら読む | <ul style="list-style-type: none"> ポイントを整理しながら文を読み進めることができたか。 | |
| | | 5. 国際理解① | <ul style="list-style-type: none"> 内容理解 (空欄補充) 和訳 語句の意味 和訳 内容の言い換え | <ul style="list-style-type: none"> 別の単語を使って内容を書きかえることができたか。 | |
| | | 9. 人生① | | <ul style="list-style-type: none"> 別の単語を使って内容を書きかえることができたか。 | |
| 前期期末考査 | | | | | |
| | | 13. 読書 | <ul style="list-style-type: none"> 内容理解 指示語の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 指示語の内容を的確につかむことができたか。 | |

シラバスを利用して生徒の自学自習を支援する工夫

表5 2003, 2004 年度 3 年英語Ⅱシラバス(2)

| | | | | |
|--------|--------------|--------------|---|--|
| 前 期 | 9月 | 19. 情報化社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容理解 ・ 和訳 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 長文の一部として文脈をおいながら和訳ができたか。 |
| | | 22. 経済 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容理解 ・ 和訳 ・ 指示語を明らかにして内容を説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 長文の一部として文脈をおいながら和訳ができたか。 ・ 指示語の内容を正しく理解できたか。 |
| | | 4. 家庭、教育② | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容理解 ・ 和訳 ・ 語句の意味 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の意味を正しく理解できたか。 ・ 省略されている語句を正確に判断できたか。 |
| | | 5. 国際理解① | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容理解 (空欄補充) ・ 和訳 ・ 比較されている内容を理解する | <ul style="list-style-type: none"> ・ 長文の一部として文脈をおいながら和訳ができたか。 |
| 後 期 | 10月 | 11. 歴史 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容理解 ・ 和訳 ・ 要旨を英語でまとめる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 長文の一部として文脈をおいながら和訳ができたか。 ・ 内容を理解して、的確な言葉当てはめることができたか。 |
| | | ノンジャンル① | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容理解 ・ 和訳 ・ 趣旨をまとめる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 800字程度の長文を、内容をまとめながら読むことができたか。 |
| | | 後期中間考査 | | |
| | 11月 | ノンジャンル② | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容理解 (空所補充) ・ 和訳 ・ 趣旨をまとめる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 800字程度の長文を、内容をまとめながら読むことができたか。 |
| | | ・大学入試にむけての演習 | | |
| 12月 | 後期期末考査 | | | |
| 1月 | ・大学入試にむけての演習 | | | |

4. 評価

- (1) 各考査、授業参加態度、課題の達成状況によって総合的に判断する
- (2) 教材に載っている問題以外に課題を定期的に出し、自己評価の材料とする。

5. その他

- ・ 校内模試については、詳しいことはまたあとで連絡をします。
- ・ 11月以降は、プリントを使って長文読解に取り組む予定です。

4. 自学自習の支援

シラバスを見て次に学習する予定の箇所を確認し、自ら進んで予習などを始める生徒はいるが、そうでない生徒もいる。また、部活動などのため限られた時間の中で自学自習を進める工夫を試みる生徒もいる。3年次の年度初めの段階では、部活動の中心的役割の生徒も多く、その一方で取り組むテキストは大学入試の過去問題を含み、まだこの時期の生徒には難解なものであった。

シラバスに記載されている項目や内容には紙面の関係上限界があるため、別の資料を通して予習や復習についての指示や提案を出す方法を試みた。特に大学入試の過去問題を練習する科目では、担当者間で話し合い、第1回目の授業開始前にホームルーム担任を通して予習・復習についてのプリントを生徒に配付し自学自習方法の一例を提示した(表6)。学習内容を定着させるため、特に復習での音読を勧めた。

表6 予習・復習についてのプリント(一部抜粋)

英語Ⅱの授業の予習・復習について

- ① 必ず予習して授業に臨む。進む速さは2回の授業で1LESSONが終わる程度を目安に。
(初回から普通に授業をやります)
- ② 予習の仕方: 疑問点を持って授業に臨むようにすることが肝心
 0. 設問に目を通す(特にどこに注意して読んだらいいかを掴むと同時に、問題文のテーマの予測をつける)
 1. 辞書を使わずに、2~3回本文を読み、1文1文の大まかな意味(大意)と段落ごとの筆者の言いたいこと(要旨)をつかむ(ように努力する)。隅にメモを書いておく。
 2. 設問に対する答えを出す。
 3. 意味がわからなかった語句を辞書で調べる。
 4. ノートに全文訳を書く(1で考えた要旨の見直しをする)。
 5. もう一度設問を解き直す。
- ③ 復習の仕方:
 1. 部活をしていて時間のない者
 - ・ 予習は絶対やった上で、授業が復習!絶対わからない部分を翌日以降に残さない。質問する。
 - ・ あとは暇を見つけては(土日とか)授業の終わった課の本文を音読する。音読しながら、自然と意味が頭にすっと入ってきて、論理の流れが見えるようになるまで。そうすることで単語・熟語を覚えていく。
 - ・ 定期考査勉強をしっかりとやる。
 2. 部活のない人(時間のある人?)
 - ・ 本文の意味の確認。特に指示語と熟語・構文に気をつけて。
 - ・ その日の本文を音読する。音読しながら、自然と意味が頭にすっと入ってくるようになるまで。そうすることで単語・熟語を覚えていく。
 - ・ 語句を覚える。
 - ・ 定期考査勉強をしっかりとやる。

LL 演習のような発音練習の科目では、到達目標をより明確にイメージさせるために、1年後または2年後に取り組む予定の課題を上級生が録音したテープのうち上位のものを最初の授業で聴かせた(表7)。生徒の意欲を刺激するのにも役立った。

表7 LL 演習最初の授業で聞かせた上級生録音による課題テープスクリプトの一例

CNNニュースに挑戦！

CNNニュースの中から、「アメリカ人の職業観」というレポートを取り上げて練習します。CNNの英語は単文が多く、単純な構文ばかりです。CNNの各ニュースは、2～3分で1本にまとまっており、毎分160～180 words くらいの速さで話されています。CNNのスピードについていければ、speaking も listening もかなり上達します。

"Are Americans Satisfied with Their Jobs?"

〈 Words 〉
complain pastime poll Labor Day indicate satisfy employment
correspondent Gene Randall Congress declare legal workplace employ
survey follow-up express preference

Sometimes it seems that complaining about the job is the national pastime, but a CNN/Time magazine poll taken for Labor Day indicates that most adult workers in the U.S. are satisfied with their employment. CNN national correspondent Gene Randall reports:

Nearly a hundred years after Congress declared Labor Day a legal holiday, it appears that Americans, by and large, accept their roles in the workplace. Five hundred twenty employed adults, 18 and older, were questioned for the CNN/Time survey last week. Eight out of ten said they were satisfied with their present jobs. But when asked a follow-up question, 35 percent expressed preference for changing jobs rather than staying put.

自分の仕事の愚痴をこぼすのは全国どこでもよく見られる光景かと思われましたが、今回、労働者の日にちなんで、CNNとタイム誌が行った合同世論調査では、大部分の人が自分の仕事に満足しているという結果が出ました。CNNのジーン・ランドル記者がレポートします。

労働者の日が議会によって正式な休日に制定されてから約100年、国民は自分の仕事にだいたい満足しているようです。先週、CNNとタイム誌は18歳以上の労働者520人に対して調査を行いました。その結果、10人に8人は自分の仕事に満足していると答えています。しかし、続く質問に対しては、35%が今の会社にいるよりも転職したいと答えているのです。

5. おわりに

生徒の1年後やその先を見通しながら学習計画を立て、提示し、それに合わせて授業デザインを作り実行することは容易ではない。事実、年度初めに提示したシラバスの進度に実際の授業が合わず、乖離が大きくなる前にシラバスの修正版を出したこともあった。それでも、先を見通した指導計画があるために、教員側も第1回目の授業からしっかりとした戦略をもって授業に臨むことができた。また、同じ科目を担当する者同士で連携をとりながら、授業のみならず自学自習の支援の仕方も足並みをそろえて行い、学校全体でのシラバス作成の一端を担えたことも貴重な経験であった（シラバスの冊子デザインについても試行錯誤を繰り返し、2004年度版から、生徒が2、3年先まで明確に見通せるよう3年分を一冊にまとめる形に戻っている）。新しい科目の授業を第1回目から生徒に意欲的に取り組ませ、授業外の学習もより充実したものにしていく工夫にはまだ検討の余地が多々ある。今後も教科内で意見を交換し、生徒の学習状況を更に細かく確認しながら指導計画・授業デザインに反映させていきたいと考えている。